

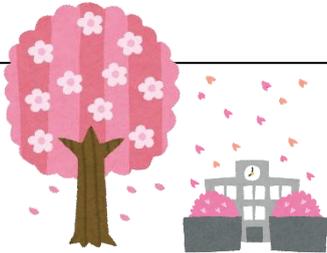
東京都立水元小合学園 通信

令和6年4月8日（通算112号）

東京都立水元小合学園 校長 米谷 一雄

SNS

随時更新中



新年度を迎えるにあたって

校長 米谷 一雄

今日から令和6年度がスタートしました。花のたよりとともに、暖かな陽気が、新入生たちを歓迎しています。今年度は、就業技術科237名、肢体不自由教育部門79名、全児童・生徒数316名となります。春は出会いの季節、新しい仲間が加わり、人と人との触れ合いで、学校が活気で満ちています。今年度1年、笑顔の絶えない学校を目指していきます。

あらためて、新入生のみなさんご入学おめでとうございませう。そして、在校生のみなさん進級おめでとうございませう。児童・生徒が充実した1年を送れるよう、教職員一同、しっかりとひとりひとりの歩みを支えていきます。新入生のみなさんは、一日も早く学校に慣れ、自分の力を発揮していけるようにしましう。在校生のみなさんは、新たな目標を立て、できることを増やすとともに、必要な力を身に付け、定着させていませう。

さて、今年度は、開校10周年を迎えます。昨年度、両部門生徒による周年行事実行委員会で進めてきた、記念のロゴと式歌が完成しました。水元小合学園のシンボルとして、様々な場面で活用していく予定です。楽しみにしててください。

【今年度の経営方針（グランドデザイン）】

今年度も引き続き、学校経営として「3つのしんか」をキーワードとして掲げ、さらに、育てたい児童・生徒像に向けて「3つのデザイン」を示しました。

「進化」：移り行く社会の状況や教育ニーズに応じて、柔軟さをもちながら、発展し、進歩することを目指す。

「深化」：子供たちの学びの理解を深めるとともに、学習内容、授業について、よりよくするために追求していく。

「真価」：子供たちのもつ能力を見極め、引き出し、発揮させ、日常生活の安定と社会生活への適応力を高め、自己選択・自己決定のプロセスを経て卒業後の進路を実現する。

「フューチャーデザイン」：人生や未来を描き自分らしさを大切に、生きる力を身に付け、新たなことへ主体的にチャレンジしていく。

「ラーニングデザイン」：気づく楽しさ、わかる喜びを基に、好奇心をもち、生涯に渡って学び続けることで、人生を豊かにしていく。

「ハートデザイン」：礼に始まり、感謝を忘れず、自分を大切にする心と他の人を思いやる心でみんなが幸せになる。

肢体不自由教育部門

入学・進級おめでとうございます！

肢体不自由教育部門副校長 佐々木 和江

小学部8名、中学部10名、高等部5名の新入生、転入生、一つ上の学年に進級した皆さん、入学・進級おめでとうございます。令和6年度肢体不自由教育部門は79名の児童・生徒でスタートしました。できること、できていたことを大切に新しいことにチャレンジしていきましょう。

都立大泉特別支援学校より異動して参りました 佐々木 和江（ささき かずえ）と申します。児童・生徒の小さな気付きを大事にしています。また、大きな気付きでは、医療的ケア、交流活動、進路など、多職種・外部とのつながりを大切に丁寧に進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

学校経営担当

どうぞ よろしく願ひいたします。

学校経営担当副校長（肢体不自由教育部門） 川俣 幸子

都立足立特別支援学校から異動してきました、川俣 幸子（かわまた さちこ）と申します。学校経営担当副校長として、肢体不自由教育部門を主に、就業技術科の方も担当させていただきます。副校長という立場で、学校全体がスムーズに教育活動を進められるよう務めますので、どうぞよろしくお願いいたします。今年度は10周年記念行事があります。長い教員人生の中で、このような記念すべき行事に携わることにはなかなかないので、とても楽しみにしています。一人一人の笑顔を大切にしますので、生徒の皆さん、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

就業技術科

入学・進級おめでとうございます。

就業技術科副校長 荒金 普玄

就業技術科80名の新入生の皆さん、進級した2、3年生の皆さん、保護者の皆様、入学・進級おめでとうございます。令和5年度に引き続き、就業技術科の副校長を担当いたします、荒金 普玄（あらがね ふげん）と申します。今年度、本校は10周年を迎えます。明確な目標をもって入学してきた新入生、日々前進している生徒のため、これまで10年間で積み上げてきた伝統を継続しつつ、広い視野と多角的な視点を持ち、教育活動を充実させてまいります。そして、地域行事への参加、活動範囲を広げた清掃活動等、地域と連携した活動も継続・発展させていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。